



## 防災スクール

6日(金)午後、高校生防災スクールを実施しました。授業中に緊急地震速報が出されたという想定で、今回の避難場所に設定したグラウンドに全員が避難し、海南消防署の方から講評をいただきました。その後、1学年は生徒ホールに移動し、アルファ化米炊き出し訓練及び新聞紙での簡易トイレ作りを行いました。



2学年は、防災に関する8ブースを設置し、そのうち3ブースに参加する形で実施しました。

- ① 救急救命(消防署ブース)
- ② 災害救護(日赤ブース)
- ③ 防災アプリ(県防災企画課ブース)
- ④ 東日本大震災から学ぶ(海南市社会福祉協議会ブース)
- ⑤ 海南高校が避難所になったら(海南市役所ブース)
- ⑥ 災害シュミレーション(県教育委員会ブース)
- ⑦ 防災グッズ(高校生ブース)
- ⑧ 地震体験車&身の守り方(高校生ブース)

生徒の感想には、「災害に遭ったときに正しい判断ができるよう知識を身につけたい」等の記述が多く見られました。災害の恐ろしさを知るとともに、防災意識を高めることができました。



## 高等学校生徒科学研究発表会 科学部が優秀賞受賞

19日(木)、県民文化会館において、和歌山県高等学校生徒科学研究発表会が行われました。本校からは教養理学科1・2学年と普通科2学年理系生徒が参加しました。午前中は、各校の代表5チームが口頭発表を行い、積極的に質疑応答が交わされました。午後のポスターセッションの部では、SITP 選択生の各グループが4月から取り組んできた課題研究についてポスター発表を行い、交流しました。その結果、本校科学部の研究「アオバズクの食痕から見る周辺環境」が優秀賞を受賞しました。



## 「税の作文」1学年4名が入賞

10日(火)、海南税務署長が来校し「税の作文」入賞者への表彰が行われました。榎本 翠さんが「公益社団法人納税協会連合会会長賞」、水越うららさんが「県知事賞」、山崎俊希さんが「県租税教育推進連絡協議会会長賞」、前部屋光玖さんが「海南税務署長賞」を受賞しました。本校では、1学年の夏季休業中の課題として取り組み、税制への理解を深めています。



## 1月の予定

- 3日 集中学習(～5日)
- 8日 始業式  
宿題考査(～9日)
- 9日 3学年学年末考査(～10日)
- 10日 2学年生活指導アゼンブリー
- 14日 1学年生活指導アゼンブリー
- 15日 遊歩道交通指導
- 18日 センター試験(～19日)
- 20日 服装身だしなみ週間(～24日)
- 29日 マラソン大会